

目標達成計画

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者の思いや願いを常に考えAPPプランを作成し、家族にも意見、要望をお聞きする。家族からの希望等はみる。	家族ケア、サービス、対応等に対して、真に原真っていきことを話し合う場所を提供し話し合いによる雰囲気作りをしめる。	管理者、職員は家族の面会毎に意見や要望を必ずお聞きする。家族会の開催を実施し、意見や要望を話し合えるようにした。	6か月
2	35	地震、津波等時には、マニュアルを添って利用者を安全な場所へ誘導する訓練が実施できている。	南海、東南海地震マニュアルを作成し、利用者も安全な場所へ避難誘導する。	ホールに避難経路を掲示する。避難の手順、役割分担、持ち物などを常時準備し、利用者を迅速に誘導する。すばらくメールを利用する。家族に避難訓練に告知する。	6か月
3	12	重度化した場合や終末期に向けた支援については、その都度話し合っているが希望と添った支援をしていけるも医師との連携が深くなっていない。	医師との連携を深くして、重度化、終末期支援に向けての共有化を関係者間で図りたい。	入所時に家族、本人に重度化に備った場合や終末期の対応について希望を聞き、ホームでの対応が可能なケアについて医師や職員、関係者で話し合い方針を明確にする。	6か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の欄を記入してください。